

令和5年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：令和5年11月29日（水） 14:00～16:30（13:30 受付開始）

開催場所：温泉地学研究所2階会議室+オンライン（Zoom）

■開会挨拶

14:00-14:10 温泉地学研究所長 板寺 一洋

■口頭発表（括弧内は発表者）

(1) 14:10-14:35 衛星観測により捉える神奈川県内の地盤変動（道家 涼介）

近年、人工衛星のデータを活用することにより高い空間解像度で地盤変動を計測することが可能となっています。本発表では、神奈川県内を対象とした解析の結果のうち、平野部での大規模盛土造成地や、山間部における地すべりなどの事例を紹介します。

(2) 14:40-14:55 2022年の地震活動と箱根火山の火山活動について（栗原 亮）

神奈川県およびその周辺地域を中心とした2022年の地震活動の概要と箱根山の火山活動についてお話しします。

(3) 15:00-15:25 大涌谷付近のごく浅いところで発生する小さな地震の活動（栗原 亮）

時々発生する小さな地震では、大涌谷の周辺の数か所の観測点でのみ波形が観測されます。本研究ではこの地震のおおよその震源位置を求め、また過去のデータから類似の地震を検知することで、以前よりこのような地震が多数発生していることや最近増加傾向にあることを明らかにしました。

(4) 15:30-15:55 火山ガス組成の連続観測システムの構築（外山 浩太郎）

近年、火山活動評価において、火山ガス観測の重要性が認識されるようになってきました。本発表では、当所で開発を進めている火山ガス組成の連続観測システムの概要と箱根火山の噴気地帯で行った観測結果についてお話しします。

(5) 16:00-16:25 伊豆衝突帯周辺のテクトニクス再考（本多 亮）

近年の地震学的・測地学的研究成果から考えられる伊豆衝突帯周辺のテクトニクスと地震との関係についてお話しします。

■閉会挨拶

16:25-16:30 研究課長 菊川 城司

※口頭発表の内容および順番はやむを得ず変更させていただく場合があります。